

# 県南さんぽだより 第7号

発行所 茨城県南地域産業保健センター 0297-62-7937、Fax 0297-62-7907 発行人 大木秋雄

## 「ある日突然、私を襲った成人病」

取手北相馬保健医療センター  
医師会病院 総務課 江原和弘

9月になっても暑い日が続いていた昨年、仕事が終わって私は車で家路についていた。運転していると、左の下腹部に鈍痛があるのに気づいた。ベルトに締め付けられているせいで痛いのだと思い、ちょっとベルトを緩めてみた。しかし、違和感は取れず、そうこうしているうちに、家にたどり着いた。腹痛はよくなるどころか、ますます痛さが増してきたのだった。

私は、これはひどい便秘ではないかと思った。というのも学生の頃、夜中腹痛で七点八倒し、翌朝病院に行って診察を受けたところ、レントゲン写真を見た先生が「君これは便秘のひどいやつだよ、浣腸でもして出せば治るよ」と言われ、実際浣腸してもらおうと楽になったからだった。そのことが頭にあったので、素人考えで便秘と自己診断したのだった。

翌日、私は内科の先生に診察してもらった。私は「これは便秘のひどいやつだと思うので、下剤でも飲んですっきりすれば治ると思いますので、下剤を下さい」と言った。先生は「じゃあ、下剤を出すから、様子を見て!」と言って、“下剤”を出してくれた。翌朝、トイレに行ってもすっきりすると思っただけなのに、また、腹痛がやってきたのである。

今度ばかりは「これは、違う。もう1回診てもらおう」と内科で診察を受けた。前回とは違う先生だったので、経過をかいつまんで説明した。「熱はないんだね!じゃあ、お腹のレントゲンを撮ってみよう。それと血液検査をしてみよう。痛みは点滴をするから」と先生に言われた。点滴をししばらくしていると、レントゲン写真ができたらしく、先生がベットサイドに来てレントゲン写真を見せてくれた。写

真には腎臓と下の膀胱にのびる尿管、そして骨盤が映し出されていた。先生は「これは君、たぶん尿管結石だな。ほら、ここに白っぽいものが写っているだろう。これが結石で、尿管にひっかかっているんだよ。痛みはその石が動いて尿管を刺激するからだよ。明日、もう一度造影検査という検査をしてみるけれど、たぶん尿管結石だと思うよ」と説明してくれた。

「便秘じゃなかったのか。しかし、痛みの原因が尿管結石だとは」レントゲン写真を見ながら、先生が最後に一言「君、これは成人病だよ」。“成人病”その一言がショックであった。

私のこの体験は、改めて健康に対する認識を深めさせた。年齢と共に体が衰えていくのは紛れもない事実である。しかし、健康管理をしっかりとすれば元気に生活できるのだ。そして健康管理の第一歩は、まず自分の現在の健康状態を知ることである。そのためには、年1回は健康診断を受けること。私は、自分の体にあったその“結石”を見るとつくづくそう思うのである。

### 【編集後記】

このようなところにも成人病が忍び寄っていると、まったく他人事とは思えない。

我々も十分注意したいものです。 大木

(社) 竜ヶ崎労働基準協会からのお知らせ  
検診車による健康診断をご希望の事業場には、当協会で斡旋します。お申し込みは、  
電話 0297(62)7923